

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
IGL医療福祉専門学校	平成13年3月30日	野村 敏之	〒731-3164 広島市安佐南区伴東一丁目12番18号 (電話) 082-849-5001				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人IGL学園	昭和49年3月27日	永見 憲吾	〒731-0154 広島市安佐南区上安六丁目31番1号□ (電話) 082-830-3399				
目的	地域歯科保健医療の充実を図るために予防・処置や保健指導の必要性が高まり、在宅歯科や歯科的介護サービスへの対応が進展している。これらのニーズに対応し、歯科衛生士業務の充実を図り、業務の充実に対応する人材を育成する。						
分野	課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療	医療専門課程	口腔保健学科		平成20年文部科学省告示第11号		無	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2534	1154	124	1256	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
150人	104人	4人		47人		51人	
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> ■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日 		成績評価		<ul style="list-style-type: none"> ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験の成績で評価。100点満点で評価し、60点以上をもって単位が認定される。成績評価の表示は、優(80点)良(70点以上～80点未満)可(60点以上～70点未満)不可(60点未満) 		
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■学年始:4月1日 ■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月24日～翌年1月6日 ■春季:3月21日～4月7日 ■学年末:3月31日 		卒業・進級条件		<ul style="list-style-type: none"> 進級要件 当該年次において開設している全科目についての単位が認定され、かつ学納金が納入期日までに納入されていること 卒業要件 卒業に必要な全科目の単位を修得し、かつ学納金が納入期日までに納入されていること 		
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 長期欠席となる前に事情の聴取、確認の面談を行い、早期出席を促す 		課外活動		<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類 幼児歯科検診の補助活動 ■サークル活動: 有 		
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先、業界等 歯科医院・病院 ■就職率^{※1}: 100% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2}: 92.5% ■その他 		主な資格・検定等		<ul style="list-style-type: none"> 歯科衛生士国家試験受験資格 専門士 		
(平成 27 年度卒業者に関する平成28年5月1日 時点の情報)							

中途退学の現状	■中途退学者 12名 平成27年4月1日 在学者 100名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 88名 (平成27年3月31日 卒業者を含む)	■中退率 12%
	■中途退学の主な理由 成績不振・進路変更	
	■中退防止のための取組 学生の面談を随時行い、問題点を確認し教員間で情報を共有し対策を検討した。また、学力不振の学生には補講等を実施し学力の底上げを図った。	
ホームページ	http://www.igl.ac.jp/	

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

専攻分野に関する職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、企業等と連携し、教育課程を編成する上で意見を十分に活用し専門的な職業教育を実施することを基本方針とする。授業内容の把握・分析を行い最新の情報を学生に教授できるようにする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年3月1日現在

名 前	所 属
丸木 直也	公益社団法人広島県鍼灸師会 副会長
岡峰 勝広	株式会社さくらモンデックス安佐南院 院長
加藤 弘幸	公益社団法人広島県柔道整復師会 総務部長
西田 和明	医療法人齊和會 廣島クリニック 経理部長
藤井 紀子	公益社団法人広島市老人福祉施設連盟 会長
松林 克典	社会福祉法人正仁会 特別養護老人ホームなごみの郷 施設長
浮田 瑞穂	一般社団法人広島県歯科衛生士会 副会長
上間 京子	Jokanスクール 校長
野村 敏之	IGL医療福祉専門学校 校長
賀川 一樹	IGL医療福祉専門学校 教務部長兼柔整学科学科長
尾野 龍一	IGL医療福祉専門学校 教務副部長
森 美香	IGL医療福祉専門学校 介護福祉学科 学科長
南 一成	IGL医療福祉専門学校 鍼灸学科 学科長
今井 康夫	IGL医療福祉専門学校 口腔保健学科 学科長

(開催日時)

第1回 平成28年6月26日(日) 11:00~12:00

第2回 平成28年9月11日(日) 16:30~17:30

教育課程編成委員小委員会 平成28年7月13日(水) 16:00~17:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

専攻分野に関する職業に必要な実践的かつ専門的な能力や技術及び技能を向上させ卒業後に即戦力として活躍できるように育成することを基本方針とする。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
臨地・臨床実習	歯科医療の現場で歯科衛生士としての実践的な仕事を体験・理解し、技術的能力とコミュニケーション能力を身に付ける。また、老人施設、保育園などでの実習を通して歯科衛生士のさまざまな働き方を学習する。	広島大学病院・広島医療生協 コープ共立歯科・JA広島総合 病院・竹下歯科医院・広島市 保健所・サムエル未来こどもの 園

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員は実務に関する研修と、歯科衛生士の養成学校の教員としての自己の知識及び技術を向上させるために研修に参加し、日々研鑽するとともに原則として年1回以上の研修会に参加する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年3月1日現在

名 前	所 属
上間 京子	Jokanスクール 校長
岡峰 勝広	株式会社さくらモンデックス安佐南院 院長
西田 和明	医療法人齊和會 広島クリニック 経理部長
松林 克典	社会福祉法人正仁会 特別養護老人ホームなごみの郷 施設長
中玉 基	学校法人広陵学園 広陵高等学校 校長
山根 弘	IGL医療福祉専門学校同窓会 会長

(学校関係者評価結果の公表方法)

インターネット(学校ホームページ)

[URL:http://www.igl.ac.jp/](http://www.igl.ac.jp/)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

インターネット(学校ホームページ)

[URL:http://www.igl.ac.jp/](http://www.igl.ac.jp/)

授業科目等の概要

(医療専門課程口腔保健学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			心理学	「心理学(概論)」を学ぶことで、人間の心に関心を持ち、この講義を契機に更に深め、臨床場面で役立てる。	1後	16	1	○			○		○		
○			英語	歯科医院で、日本語に慣れない外国人に対応することが多くなっている。歯科医院での英会話を軸として日常の歯科英会話を身に付ける。	1前	16	1	○			○		○		
○			保健体育	ヨガの基礎的な呼吸法、アーサナ(ポーズ)を用いた体の各部位に効果的なエクササイズプログラムを実施する。心身ともに健康な生活を送るための基礎知識を身につけ、健康面での自己管理の方法を学習する。	1後 2前	32	2		○		○			○	
○			情報科学	コンピュータを使って、情報の収集、編集からまとめるまでの基本的技術を学習する。文書作成ソフトWord及びプレゼンテーション作成ソフトPowerPointを適切に操作、習得する。	1後 2前	32	2		○		○			○	
○			生物学	生物学、解剖学などの専門基礎分野の基礎となるような生物学(生物体の構成と機能に関する分野)の基礎的事項を習得する。	1前	16	1	○			○			○	
○			化学	基礎化学の学習を通し化学物質に対する基本的理解を深めさせ、正しい物質観・科学的自然観を育成する。	1前	16	1	○			○			○	
○			コミュニケーション学	歯科分野では患者様、利用者様といった被援助者と毎日接し、多くのメッセージをやり取りしている。即戦力として求められる歯科スタッフとしての総合的なコミュニケーション力の基本を学習する。	1前	30	2	○			○			○	
○			解剖学	人体を骨、筋、神経、内臓等に分類し、構造について概略を学ぶ。頭頸部については、より細部について学ぶ。人体、特に頭頸部の諸構造の立体的位置関係を理解することにより、それらの機能や病気を知り、診療を行うための基礎となる知識を身につける。	1前	40	2	○			○			○	
○			口腔解剖学	歯科医学に必要な歯の形態(総論、各論)を学ぶ。また、咀嚼のメカニズムも学習する。	1通	32	2	○			○			○	
○			口腔解剖学実習	歯の形態を理解し、口腔保健医療従事者として不可欠な解剖学的知識を修得するために歯の彫刻を行う。	2前	32	1			○	○			○	

授業科目等の概要

(医療専門課程口腔保健学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			組織学・口腔組織学	人体を構成する細胞並びに組織構造の基本を学ぶ総論と、口腔組織を学ぶ各論からなる。	1後	20	1	○			○		○		
○			生理学・口腔生理学	生命を保ち子孫を残すために機能しているカラダのしくみを、細胞レベルから器官系のレベルまで、さまざまな角度から学ぶ。前半は環境の変化に適応しながら、栄養を取り込みエネルギーに替えて新陳代謝と生殖行動を行う生命の基本的機構を学び、後半は口腔周辺での生理現象を取り上げて、解剖学の知識と照らし合わせながら、諸器官の機能やその連係を理解する。	1前	40	2	○			○		○		
○			病理学・口腔病理学	病理学は、病気の原因、成り立ち、経過、結果などを理解する。全身の臓器組織に共通してみられる病変の成り立ちや特徴、口腔領域に生じる病変の病理的特長についてより詳細に学ぶ。更に、代表的な病変を顕微鏡で観察し、スケッチする。	1後	32	2	○			○			○	
○			微生物学・口腔微生物学	医学微生物・口腔微生物学の基礎・免疫学の基礎を理解する。	1後	40	2	○			○			○	
○			薬理学・歯科薬理学	薬がどのようにして作用するのか(薬理作用)、副作用はどのようにしておきるのかなど、薬理学の基礎から学ぶ。また、薬を安全に正しく取り扱うための基礎知識を習得する。特に歯科領域で汎用される薬物については、臨床使用・応用例を交えて理解する。	1後	32	2	○			○			○	
○			生化学・口腔生化学	生体内分子の構造や性質を分子レベルで学習し、合成・分解の筋道すなわち代謝経路を理解し、エネルギーの流を把握し、生命維持のために種々の調節機能が用意されていることを正しく認識する。	1後2前	36	2	○			○			○	
○			栄養学	栄養素の種類・生理機能・代謝について理解し、エネルギー代謝や栄養素の要求量・欠乏症について学習する。	1後	20	1	○			○			○	
○			理工学・歯科理工学	歯科衛生士として必要な歯科材料や機器についての基礎的な知識の習得をもとにして、歯科臨床における各歯科材料の取扱い方や管理方法、各歯科用機器の取扱い方及び生体に対する歯科材料の安全性等について学習する。	1前	32	2	○			○			○	

授業科目等の概要

(医療専門課程口腔保健学科) 平成28年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			衛生学・公衆衛生学	健康の概念や予防の考え方を解説し、食生活、運動、休養、喫煙等の生活習慣の改善や生涯を通じての保健事業の全体的な構造の理解のもとに、歯科衛生士として国民の健康増進に貢献するために必要な知識と技術について学習する。	2後	18	1	○			○			○		
○			口腔衛生学A	口腔清掃、齲蝕の予防、歯周疾患の予防、口臭の予防などについて歯科衛生士として歯科保健・医療に従事する上で必要な知識を習得する。	1後	16	1	○			○				○	
○			口腔衛生学B	歯科衛生士として歯科医療に貢献するため、その基礎知識として不正咬合の予防、歯科疾患の疫学や歯科保健統計を学び、地域口腔保健活動について理解する。	1後	16	1	○			○					○
○			歯科衛生統計	疫学調査と統計学について基本的事項を習得する。特に歯科における指導(口腔清掃指標、歯周疾患、う蝕の指標など)とそれらをもとにした実態分析(平均値の差、相関関係)の方法を習得する。	2後	18	1	○			○					○
○			衛生行政・社会福祉学	歯科衛生士として歯科医療に貢献するため、衛生行政の仕組みや保健医療、さらに福祉関係の法規についても精通し、また社会福祉や社会保険制度の諸対策について理解をする。	2後	18	1	○			○					○
○			歯科衛生士概論	歯科衛生士として保健・医療・福祉に関わることの意義をみつけ、また専門職として必要なことは何か、何を学ぶのか、また、対象とする人、ニーズの把握の仕方、さらに歯科衛生業務の考え方や行動の仕方を理解する。また、倫理的な視点を持ち、かつ科学的な裏づけをもって仕事をするこの意味を考える。	1前	32	2	○			○				○	
○			歯科医学概論・臨床概論	歯科にかかわる人々との業務内容、現状とその問題点、歴史及び将来の展望などを学び、歯科の世界を包括的に理解する。	1前	20	1	○			○					○
○			審美歯科	顎口腔における形態美・色彩美・機能美の調和を図り、人々の幸福に貢献する歯科医療を学習する。	2前	18	1	○			○					○
○			歯科保存学A	口腔・顎顔面領域の診療審査方法を理解し、治療の補助、予防の実践を行うために保存修復に関する基本的な知識・技能を身につける。	2前	18	1	○			○					○

授業科目等の概要

(医療専門課程口腔保健学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			歯科保存学B	歯内療法学に関する基礎知識を習得する。	2後	18	1	○			○			○	
○			歯科保存学C	歯周病学に関する知識を習得する。	2前	18	1	○			○			○	
○			歯科補綴学A	歯科補綴学(有床義歯学)の基礎知識を習得する。	2前	18	1	○			○			○	
○			歯科補綴学B	歯科補綴学(冠・橋義歯・インプラント)について理解する。	2前	18	1	○			○			○	
○			顎・口腔外科学	口腔外科的疾患について理解する。口腔外科小手術の概要について理解する。	2後	18	1	○			○			○	
○			小児歯科学	小児歯科学の意義・目的を踏まえ、小児の成長発達並びに小児期における口腔領域の疾病の予防法や治療内容に関する基本的知識を習得する。歯科衛生士として小児歯科医療に従事するために必要な知識や技能についても学習する。	2後	18	1	○			○			○	
○			歯科矯正学	将来歯科衛生士として矯正歯科治療にどのように携わるか理解するために、歯科矯正学の基本的な知識を習得する。	2後	18	1	○			○			○	
○			歯科放射線学	歯科で行われる画像検査の手法、基本的な放射線の知識を身につけることを目的とする。	2前	18	1	○			○			○	
○			麻酔学・歯科麻酔学	麻酔学・歯科麻酔学の授業を通して、医療従事者として必要な患者の全身状態評価、全身管理、侵襲制御・心肺蘇生についての基礎的知識を身につける。	2前	18	1	○			○			○	
○			臨床検査学	歯科医療に携わる一員である歯科衛生士に必要な、口腔に発生する疾患の予防・治療あるいはそれに影響を与える全身疾患や感染症などに関する検査の基礎的知識(検査の意義・方法・結果の解釈など)を習得する。	2後	18	1	○			○			○	

授業科目等の概要

(医療専門課程口腔保健学科) 平成28年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			高齢者歯科学	日本がこれから直面する超高齢社会に対して、高齢者のADLおよびQOL向上に寄与する口腔保健の基礎的な知識を習得し、将来的に高齢者歯科に貢献する。	2前	16	1	○			○			○		
○			障害者歯科学	障害や障害者歯科についての必要な基礎的、臨床的知識について習得する。	2後	16	1	○			○				○	
○			歯科予防処置	歯科衛生士として必要な、歯、口腔の健康に関する基礎知識を修得し健康像を十分に理解する。健康な歯・口腔を維持するために必要なプロフェッショナルケアの知識・技術を理解し、基礎実習・相互実習へつなげる。	1 2 3	90	5	○			○				○	
○			歯科予防処置 実技実習Ⅰ	実習における器具の基本的技法を習熟し、ファントムによる予防的歯石除去法の基本的施術を学習する。	1通	72	2			○	○				○	
○			歯科予防処置 実技実習Ⅱ	歯科衛生士が行う歯科予防処置方法のひとつである歯石除去の操作方法をファントムを使用して行う。鎌型・鋭匙型スケーラー操作、ミラー操作を中心に行う。また、プロービング、歯面研磨の操作法を習得し相互実習を行う。	2前	36	1			○	○				○	
○			歯科保健指導	歯科衛生士として個々の患者様に適切な保健指導を行うために、必要な専門的基礎知識及び技術を習得する。	1 2 3	90	5	○			○				○	
○			歯科保健指導 実技実習Ⅰ	歯科衛生士として必要な保健指導の基礎知識及び基礎技術を習得する。	1後	36	1			○	○				○	
○			歯科保健指導 実技実習Ⅱ	1年次に学習した歯科保健指導の内容を踏まえ、実技実習を行う。保健指導に必要なブラッシング方法や補助用具の使用法に重点を置き、患者へのアプローチ方法を学習する。また、歯科衛生士に必要な態度、マナーを学び、技術、知識を充実させる。	2前	36	1			○	○				○	
○			歯科診療補助	円滑な診療を行うための基本的な知識、チーム医療における歯科衛生士の役割を学ぶとともに診療器具や歯科材料の取り扱い方などを理解し、臨床における様々なケースに対応できる能力を養う。	1 2 3	90	5	○			○				○	

授業科目等の概要

(医療専門課程口腔保健学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			歯科診療補助実技実習Ⅰ	歯科診療で使用する材料の操作手順を実際に取り扱うことにより、その性質などを理解する。	1後	36	1			○	○		○		
○			歯科診療補助実技実習Ⅱ	1年生後期に引き続き、診療補助に必要な基礎知識、技術を充実させ、様々な治療法に対応できるよう学習する。また、歯科衛生士に必要な態度、マナーを身につける。	2通	108	3			○	○		○		
○			臨地・臨床実習	歯科医療の現場で歯科衛生士としての実践的な仕事を体験・理解し、技術的能力とコミュニケーション能力を身につける。また、老人施設、保育園などでの実習を通して歯科衛生士のさまざまな働き方を学習する。	2後3通	900	20			○		○	○		○
	○		看護学	歯科衛生士として、患者、対象の健康状態、心理状態を把握し、患者・対象に応じた看護方法・指導を学び、また、看護ケアの基本的役割、ライフサイクルの健康、医療事故における法的責任等を学習する。	2後	16	1	○			○				○
	○		総合演習	1年次、2年次で学んだ内容を総合的に復習し、科目ごとに細分化された授業とは違った視点から学習する。国家試験に向けて、学習済みの科目の内容を復習する。	2後	44	2			○		○			○
	○		卒業研究	学生自身の勉強や実習の中から発生した疑問に基づき、班別に研究テーマを決める。必要な情報を収集し、実験方法を立案し実行し、その結果について再度検討する。最終的に得られた結果について考察し発表する。研究とプレゼンテーションの技法を習得する。	3通	16	1			○		○			○
	○		介護学	介護の主義・倫理について学ぶ。基本生活支援技術(介護技術)を理解する。	2後	16	1	○			○				○
	○		東洋医学	東洋医学とはなにか。西洋医学との考え方の違いを理解する。これにより人間(患者)を診る複数の見方があるということを知る。また、簡単な按摩・指圧法などの実技を行い、他者の体に対するアプローチの感覚も学習する。	1後	16	1	○			○				○
	○		マナー	医療機関で働くために、なぜマナーが必要なのかを考える。授業は演習形式の参加型とし、マナーの基本理念のみでなく具体的なスキルを身につける。	2後	16	1	○			○				○

授業科目等の概要

(医療専門課程口腔保健学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			手話	ろう者に対する理解とお互いの意志の疎通が図られるように学習する。	1 後	16	1	○			○			○	
合計						56 科目	2534単位時間(103単位)					

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
所定の修業年限以上在籍し、学則に定める授業科目を履修のうえ、全科目の単位を修得する。	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。